



内閣府（防災担当）

南海トラフ沿いの異常な現象への防災対応検討 ワーキンググループ（第4回） 議事要旨

1. 日 時

平成30年9月25日（火）10:00～12:00

2. 出席者

福和主査、岩田委員、大林委員、加藤委員、清野委員、鍬田委員、阪本委員、田中委員、中埜委員、野口委員、橋爪委員、平田委員、山岡委員、矢守委員、青木委員、栗原委員、尾崎委員、川勝（代理：杉保）委員
中村 内閣府審議官 他

3. 議 題

- (1) 一部割れケース、ゆっくりすべりケースにおける具体的な防災対応について
- (2) ワーキンググループにおける確認事項について

4. 議事要旨

- 各委員から、一部割れケースやゆっくりすべりケース発生時の対応について概ね賛同が得られ、以下をはじめとする幅広いご意見をいただいた。
 - ・ 一部割れケースについて、前震の可能性のある地震をマグニチュード7クラスという基準で区切るのには疑問がある。また、半割れケースと一部割れケースで想定している地震の規模の境界も曖昧であるため、各ケースの定義をはっきりさせるべき。
 - ・ 一部割れケースの自主避難について、避難したい人への対応について丁寧に議論すべき。
 - ・ 半割れケースと一部割れケースで、想定される後発地震による被害の程度が異なるのであれば、それに応じた防災対応を検討すべき。
 - ・ 避難対象について、例えば、土砂災害では避難するかしないかの二択しかなく、考え方を整理すべき。
 - ・ 半割れケースとそれ以外のケースで情報の名前を分けるべき。

以 上